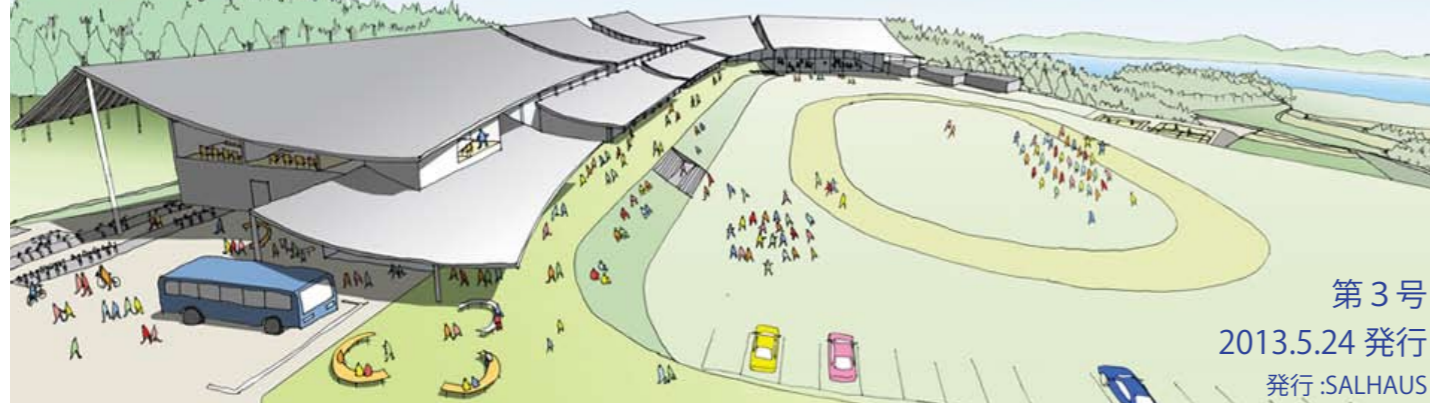


# 高田東中学校 学校づくりニュース



第3号  
2013.5.24 発行  
発行: SALHAUS

## 学校づくりワークショップ開催！（2013年3月15日 米崎中学校にて）

いよいよ！高田東中新校舎に向けた学校づくりワークショップが始まりました！今回のワークショップの目的は、『地域が参加する中学校をつくりましょう』と題して、具体的な使い方のアイデアを出し合いました。



グループワークの様子。ふきだし形のふせんに使い方のアイデアを書いて、学校マップの上に貼って意見を出し合う。

## ワークショップの流れ

- ①「希望の木」集計結果報告
- ②事例紹介（「地域に開かれた中学校」の事例）
- ③配置計画検討の中間報告
- ④グループワーク
  1. 大人4班（協議会メンバー※ 地域の方）、中学生2班（米崎・小友・広田中学校生）に分かれ、配置計画を書いた学校マップを見ながら、「この場所ならこんな使い方をしたい」「こんな場所があったらいいのでは」という意見を出し合う。
  2. 出し合った意見を一枚の紙にまとめて、意見をさらに深め、グループの特徴的な3つにまとめる。
- ⑤成果発表
 

各チームの代表者がまとめた3つの意見を発表

※協議会 = 各小中学校PTA、3地区コミセン、3校先生方



全体でのワークショップの様子。参加者は47人にもなりました。



中学生のグループワーク風景

## みんなで学校の使い方を話し合う

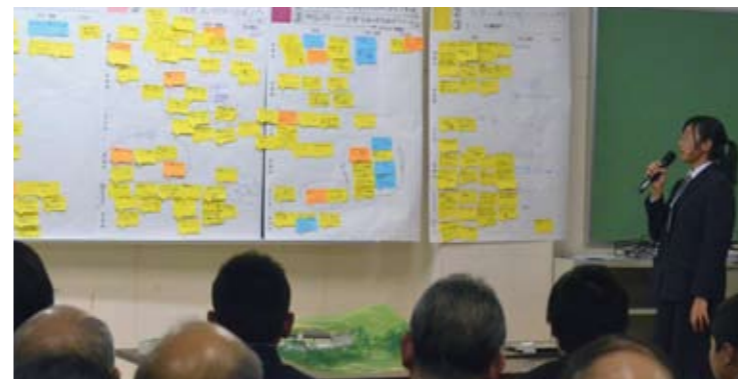


大人のグループワーク風景

7～9人で1グループになり、15秒の自己紹介からグループワークが始まりました。大きな学校マップに、ふきだし形のふせんに書いた意見を、発表しながら貼っていきました。開始直後からみなさん積極的に意見を出し合っていました。気になる所にふせんに貼るので、みなさんの気になっている所が徐々に見えてきました。中学生たちも最初は緊張していたのか控えめでしたが、時間が経つにつれて、みんな発言するようになっていき、最後は大盛り上がりでした。

## グループワークのまとめ発表

グループごとの成果を、全員の前で発表しました。発表で多かった意見は、大人グループ・中学生グループ共にスポーツに関する事で、特に「ナイター設備が欲しい」「テニスコートを充実させたい」という意見が目立ちました。全体として、大人は中学校を通して地域間の交流を促す意見が多く、中学生は自分たちがくつろげる居場所を求める意見が多かったです。



グループワークのまとめ発表の様子

## 編集後記

祝！第1回学校づくりワークショップ開催！3地域の方々が一つの場所に集り、高田東中学校新校舎についてみなさんで話し合うことができました。私達も初参加で、とても勉強になりました。（大学生スタッフ）  
（東京大：4名、千葉工業大：2名、千葉大：3名、東京理科大：8名）

## 各グループのまとめ成果

### Aグループ

- ①夜間も使える＝一般の人も使える運動施設
- ②災害時はもちろん、日常的な子供の安全を重視
- ③施設の充実により、活発な地域参加ができる学校

### Bグループ

- ①皆から見える地域開放
- ②分散型の駐車場で色々なところに行きやすい
- ③運動施設の活用 地域の大会を開催したい

### Cグループ

- ①伝統芸能と地域の特性を共有する場
- ②気軽におしゃべりができる図書館、居場所
- ③災害に強く、安全な学校

### Dグループ

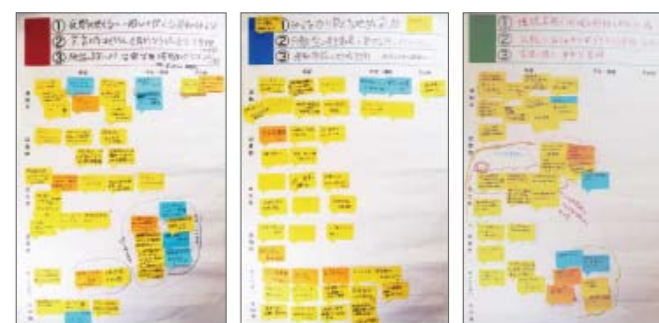
- ①3つの開放で東中！（スポーツ、伝統文化、図書館）

### Eグループ（中学2年生）

- ①部活、活動場所の設備の充実
- ②勉強から抜け出してくつろげる場所
- ③花だん、暖炉などの設置

### Fグループ（中学1年生）

- ①学生と地域のアミューズメントパーク
- ②充実した（プロ仕様）スポーツ設備（みんな使える）
- ③俺たちと地域の交流できる広場



Aグループ

Bグループ

Cグループ



Dグループ



Eグループ（中学生）



Fグループ（中学生）